

迎春



主な内容

- 新年のごあいさつ 2 ~ 4
- 壬生町健康ロードレース大会 5
- 第19回公民館まつり 6 ~ 7
- 国民年金からのお知らせ 8 ~ 9

おもちゃ博物館 お正月特別開館

1月3日・4日の2日間、おもちゃ博物館は、お正月特別開館をしました。

いろいろなおもちゃが当たる「お楽しみ抽選会」や、「手作り羽子板」、「手作り凧」、「和風の展示」、琴の演奏が入った「生バンド演奏」などが行われ、みなさんお正月ならではの催しを楽しんでいました。



年頭のごあいさつ



壬生町長 清水 英世



従来の経済システムや横並びの画一的な施策展開は限界にきており、抜本的な改革が急務となつております。また、いじめによる自殺の多発、あるいは児童虐待問題など、倫理観や規範意識の低下に伴い、様々な問題が生じてきております。

新年明けましておめでとうございます。2007年の新春を、さわやかに迎えたいと存じます。皆様にとりまして、本年が実り多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

また、平素は、町行政に対し暖かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。年頭に当たり、町政運営に対する所信の一端及び各種施策の推進状況等を、申し述べさせていただきます。

時代は今、急速な高齢社会と少子化による人口減少とが同時に進行するという、これまでにない、大きな転換期を迎えようとしております。こうした中、

とこども関連の施設が充実しております。これらの施設を有効に活用しながら、地域ぐるみでの子育て機能の充実に努めて参ります。

高齢者の支援といたしましては、高齢者の皆様が自立した在宅生活が出来るよう、介護予防・生きがい活動事業や高齢者生活支援事業なども、充実させて参りたいと考えております。また、障がい者の積極的な社会参加と自立に向けて、自立支援の各種サービスを充実して参ります。さらに、内外から高い評価をいただいております「むつみの森」の運営をより充実させ、障がい者の就労と雇用の促進を図って参ります。

第3は、「調和のとれた元気なまちを創造する」であります。安塚駅西広場整備事業を始め、救急医療体制の充実にもつながる通称壬生インター北通りの整備など、都市基盤の整備も積極的に推進して参ります。また、長年の懸案事項であります、六美地区雨水排水対策問題にも取り組んで参りたいと考えております。

第4は、「安心して暮らすことのできる社会を実現する」であります。各種災害等に迅速

このような背景下において、地方自治体には、介護予防事業の実施など少子高齢化社会への対応はもとより、産業の振興、さらには教育問題への対応等、各般に渡る政策課題を着実に推進することが、より一層強く求められております。

本町におきましても、住民相互の連携を一層強固なものとし、住民一人ひとりが誇りと愛着の持てる活力と個性溢れるまちづくりに、邁進していかなくてはと考えております。本年も、創意と工夫を凝らしながら、本町の目指すまちづくりの実現に向けて全力を傾注し、町民の皆様のご期待にお応えする覚悟でございますので、より一層のご指

に対応出来るよう、防災及び災害時の中核的施設となります防災研修センターの整備にも着手して参ります。また、本町は県内でも生活排水対策の最も進んだ町のひとつとなっておりますが、今後は調整区域内の公共下水道事業並びに農業集落排水事業を、さらに積極的に推進して参ります。

第5は、「個性が輝き文化が薫る、学びの社会を実現する」についてであります。まず、学校教育についてであります。人づくりはまちづくりにも通じ、将来の壬生町を見据えたとき、教育問題は最も重要な課題であると捉えております。このため、豊かな人間性や学力を備えた心身共に健康でたくましい子どもを育むための体制整備にも、積極的に取り組んで参りたいと考えております。また、本年は町全体の活性化と町民の融和を図るため、「第5回壬生町ファミリー体育祭」を開催して参りたいと存じますので、多数の自治会のご参加をお願いいたします。

第6は、「活気に満ちた豊かで元気なまちを創る」についてであります。町内産業の活性化を図ることは、将来にわたって

導とご支援をお願いいたします。

さて、昨年からの新しい総合計画に基づく、「まちづくり」がスタートいたしました。2年目となります本年は、この計画の歩みをより確かなものとするための重要な年であると捉えております。計画の実現に向け、これまでの成果を生かしながら、次代に自信を持って引き継げる「壬生町」を、住民の皆様と一体となつて目指して参ります。

第5次総合振興計画の将来都市像は、「活力と創意が生きる希望に満ちたまち・みぶ」であります。この都市像は、住民・企業・行政が、自らの責任と適切な役割分担を踏まえながら、地域の様々な課題に、活力と創意を持って取り組み、希望に満ちた地域社会を共に切り拓いていく姿を表しています。なお、計画の推進に当たりましては、協働の理念に基づき、これまで以上に皆様のご意見を伺いながら、進めて参りたいと考えております。そのため、「まちづくり住民会議」の継続的な開催や「パブリックコメント制度」の導入など、より皆様の意見が反映されやすい体制を整備して参ります。

本町の活力を維持、発展させていく原動力であると考えております。このため、地域間競争が激化している企業誘致につきましても、北関東自動車道などによる本町の恵まれた立地条件を、積極的にPRして参りたいと考えております。また、商工業の振興につきましては、経営安定や活性化を図るための制度融資や商工団体に対する助成などを、引き続き実施して参ります。農業の振興では、産地間競争に勝てる強い農業の確立を図るため、苺・トマトなどの生産・販売への支援を充実させて参ります。また、認定農業者や集落営農組織の育成に努めるとともに、食育や地産地消の推進などにも取り組んで参りたいと思っております。さらに、北関東自動車道、わんぱく公園、おもちゃ博物館という他市町の人も羨む恵まれた都市基盤を効果的に連携し、地域活性化の拠点となる広域交流拠点整備事業（ハイウェイオアシス）につきましても本格的に着手して参ります。

以上、主な施策の概要等について申し上げますが、お陰をもちまして、本町は県下で最大の町として、また、最も都市基

今次の総合振興計画は、6本の基本姿勢により構成されておりますので、基本姿勢ごとに主な施策の取り組みについて申し上げます。

まず、第1は「健全な地方自治を確立する」についてであります。住民自治と連携のまちづくりを推進するため、引き続きコミュニティ活動に対する支援を行って参ります。また、昨年度、自主的に行う自治会活動を支援するために創設いたしました、「活力ある地域づくり支援事業」もより充実させて、実施して参りたいと考えております。

第2は、「いのちが輝く元気な地域社会を創る」についてであります。少子化対策といたしましては、保育園並びに幼稚園の第3子保育料無料化を継続していくと共に子育て相談体制の充実などに努めて参ります。また、今年度は育児の援助を行う人と育児の援助を受ける人が、地域の中で助け合いながら子育てが出来るよう「ファミリーサポートセンター」を立ち上げて参りたいと考えております。さらに、本町は獨協医科大学子ども医療センターやとちぎわんぱく公園、そしておもちゃ博物館

盤の進んだ町として、着実に歩みを進めております。さらに、健全財政を維持するという姿勢の下、県内自治体の中においても、高い健全性を誇っております。昨年度から新たに公表されました実質公債費比率（一般会計の元利償還金のみでなく公営企業会計の元利償還金に対する繰出金等も加味した指標）は、県下で最も良好な数値となっております。これを、改めてご報告申し上げます。なお、引き続き、厳しい財政状況の下ではあります。が、広範に及ぶ多種多様な施策を、確実に推進していく所存であります。今後とも、将来世代に負担を残さない財政運営を推進していくため、行財政改革や事務事業の見直し、さらには行政評価システムの充実などにより、効果的・効率的な行財政運営に努めて参ります。

そして、住んでよかった、いつまでも住み続けたいと思つていただけるまちづくりを、住民や議会の皆様と手を携え、取り組んで参りたいと考えております。ここに、関係各位のより一層のご支援並びにご協力を、心からお願ひ申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

寒さに負けず全員完走!

第15回 壬生町健康ロードレース大会



篠原教育長、秋幡さん、板橋さん、阿部さん、磯部さん、中川さん、西島さん、高畑さん、小口さん親子



12月17日、町総合運動公園陸上競技場を発着点にして、第15回壬生町健康ロードレース大会(主催:壬生町・町教育委員会・町体育協会・町体育指導委員会)が開催されました。

競技は、8部門において行われ、今回は昨年を100人以上上回る518人の参加がありました。

当日は、陽が差さない寒い一日でしたが、途中棄権者もなく、親子ペアの部門では、大会新記録が出るなど、大会は大いに盛り上がりました。

各部門の上位入賞者(敬称略)

- 小学生男子(4年以上)3kmコース
 - 第1位 秋幡 満(壬生東小5年) 11分59秒
 - 第2位 小口 雄生(睦小5年) 12分03秒
 - 第3位 高田 衛(壬生小6年) 12分06秒
- 小学生女子(4年以上)3kmコース
 - 第1位 板橋 由夏(壬生小6年) 13分01秒
 - 第2位 荒川さゆり(睦小4年) 13分13秒
 - 第3位 佐野 史織(睦小6年) 13分22秒
- 中学生男子3kmコース
 - 第1位 阿部 瑤子(壬生中2年) 10分58秒
 - 第2位 板橋 千夏(壬生中1年) 11分19秒
 - 第3位 田中ひとみ(壬生中3年) 11分39秒
- 中学生女子3kmコース
 - 第1位 磯部 友子 12分33秒
 - 第2位 和久井理恵 13分08秒
 - 第3位 田尻 友香 13分20秒
- 一般男子3kmコース
 - 第1位 中川 均 10分44秒
 - 第2位 吉成 裕 12分46秒
 - 第3位 馬草 光雄 13分32秒
- 中学生男子6kmコース
 - 第1位 西島 翔太(南大飼中2年) 22分25秒
 - 第2位 大場 隆太(壬生中2年) 22分34秒
 - 第3位 神永 大輝(壬生中2年) 22分45秒
- 一般男子6kmコース
 - 第1位 高畑 武 20分22秒
 - 第2位 戸崎 幸博 21分34秒
 - 第3位 石渡 翔 21分48秒
- 親子ペア2kmコース
 - 第1位 小口 英之・達矢(睦小3年) 7分33秒
 - 第2位 畑中 康浩・一樹(睦小3年) 8分20秒
 - 第3位 岩村 昌征・周亮(壬生小2年) 8分27秒

壬生町議会 議長 小菅一弥



新年あけましておめでとございます。皆様方におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平成十九年の年頭に当たり、壬生町議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年を顧りみますと、トリノオリンピックでの荒川静香選手の華麗な滑りでの金メダルに始まり、野球のワールド・ベースボール・クラシックで、王ジャパンが初代王者に輝くなど、スポーツの明るい話題が我々に感動を与えてくれました。更に、秋には、本町に二度ご訪問されたことのある、秋篠宮妃紀

子様が、皇室で四十一年ぶりとなる男子をご出産されたことは記憶に新しいところであり、誠にめでたいことでありました。他方、安心安全ということを一歩に感じた一年でもありました。特に、将来を担う子供達の命が脅かされるという、いろいろな社会問題がマスコミに取り上げられ、本当に心を痛めることの多かつた年と思います。また、倫理観の欠如による数々の社会問題の発生も目立った年であったと思えます。

このような憂慮すべき事態に、教育をもう一度根本的に見直さなければ、それを今、一生懸命皆で考えなければならぬ時にきているという思いを強くいた

しております。政治的には、五年五月という戦後二番目に長い在任を記録した小泉内閣に替わり、戦後生まれ初の若い安倍晋三内閣が誕生したわけでありました。強い個性の小泉氏から実直な安倍氏へバトンタッチされ、船出したわけでありますが、小泉氏が太陽なら、安倍氏は月のような人であり、派手さは無いが、一つひとつ将来の日本を真剣に考える姿勢は好感が持たれます。特に、就任直後、停滞していたアジア外交の正常化を図るため、中国、韓国との関係修復に努めた行動力は評価されるところであります。

自民党の郵政造反議員の復党問題等の処理から国民的支持を下げているところではあります。が、将来の日本の姿を考え、「美しき国日本」の構築に向けて船出した航海は、今やつと港を出たところと考えて良いのでは無いでしょうか。これからの舵取りに大いに期待するところであります。

一方、経済状況では、企業業績の好調を要因として、景気拡大期は四十年前の「いざなぎ景気」を超え、戦後最長を記録して

いると言われておりますが、他方、地域間や個人の格差拡大が懸念されているところであります。地方においては依然として景気回復の実感が無い情勢の中で、本町でも、行財政運営は大変厳しいものがあります。そのような状況の中、本町ではバランスの取れたまちづくりが推進されているものと評価しているところでございます。

そこで私からは、今後の行政課題について、いくつか触れさせていただきます。まずは行財政運営についてですが、国と地方の税財政を見直す、先の「三位一体の改革」は、地方分権を推進することが本来の意義であったにもかかわらず、実際には国の財政再建が優先され、不完全な形で終わったとの思いであります。

また、地方交付税の方向性が不透明で、地方自治体は、今後の行財政運営に当たっては、地方公共団体が自らが自主的、主体的に行行政運営全般にわたる精査を行い、抜本的な改革を進めていくことが求められていると思っております。

次に、議会改革についてですが、地方分権の進展や住民参加

の高まりの中で、地方公共団体が担う役割はますます増大し、住民の代表機関として自治体の最終意思決定にあずかる議会の役割と責任は、格段と重くなってきております。

このような中、議会自ら行政費の削減をしようと、昨年三月に行われた町議会議員の選挙から、従来の議員定数を六名削減して、十六名という、少数精鋭の議会になりました。従いまして、議員一人ひとりが四万町民の皆様のご期待にお応えできるよう研鑽に務め、議会としての責任を果たして参りたいと思っております。

以上、行政課題の主だった点について考え方を述べさせて頂きましたが、いざれにいたしましても、本町でも大変厳しい行財政の状況は今後も続くものと思われまます。

私ども議会といたしましては、より豊かな住み良い町づくりを目指して、町民の皆様方のご期待にこたえるよう決意を新たにしているところでございます。

終わりに、壬生町のますますの発展と皆様のご健勝ご多幸を心よりご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

生活に潤いと楽しさを与える

第19回

公民館まつり

大ホール

■ステージ部門発表会

2/25(日) 9:30~

童謡を歌う集い・大正琴・民舞・新舞踊・少年少女合唱団・着付け教室・太極拳・ハワイアンダンス・いきいき元気体操・バレエ・フォークダンス・コーラス・ギター・マジック・よさこい・ウクレレ



中ホール

■作品展

(実演・体験コーナーも有ります)
2/24(土)・25(日) (25日は16:00まで)

ちぎり絵・版画・ふくべ刀彫・陶芸・籐工芸・押し花絵・手づくりネクタイ・日光彫・写真・七宝焼・絵画・抱き人形・木目込み人形・編物・デザインフラワー・書道・スタンドグラス・水墨画・竹工画・生花・園芸・絵手紙



ご家族おそろいでお出かけ下さい。入場無料!!

2/24日(土)・25日(日) 時間：9:00~17:00
会場：壬生中央公民館

ロビー

■お茶席

2/25(日) 10:00~15:00

お気軽にご利用下さい。1席20円

■第17回壬生町消費生活展

(壬生町消費者友の会)

2/24(土)・25(日) 10:00~15:00



テーマ 地球環境はあなたとわたしの足元から

- ごみを減らそう
- 買い物はマイバッグ(自分の袋)で

実演コーナー フィルムケースの貯金箱



◆花の即売コーナー 24・25日

(ガールスカウト)

◆焼そば販売コーナー 25日

(青少年クラブ)

◆その他

※即売した益金の一部を社会福祉のために寄附させていただきます。

ご案内

町歴史民俗資料館「友の会」第14回作品展

- 期 間……………2月24日(土)~3月4日(日)
- 会 場……………壬生町立歴史民俗資料館展示室
- 内 容……………展示品「はにわ、縄文土器、近世壬生の古文書研究」
作品即売「はにわ、土器、アクセサリなど」
- 段ばやし実演……………藤井五段ばやし保存会(公民館まつり会場にて)
- 問合せ先……………町歴史民俗資料館 ☎82-8544

主催：第19回壬生町公民館まつり実行委員会

●問合せ先 | 壬生中央公民館 ☎82-0108(代) | 稲葉地区公民館 ☎82-7374 | 南犬飼地区公民館 ☎86-0031

障害基礎年金

障害基礎年金は、国民年金の加入中（又は老齢基礎年金を受けていない60歳以上65歳未満で国内在住中）や20歳前の病気やケガで一定の障がいの状態になってしまった場合に、支給される年金です。

対象となる方

- ①国民年金の被保険者期間に初診日がある方
- ②国内に住所があり、厚生年金や共済組合に加入していない60～64歳の期間に初診日がある方
- ③20歳前に初診日がある方

受給の条件

《障害認定日による請求》

- ①国民年金法で定める障害等級「1級」又は「2級」の障がいに該当していること
- ②障害認定日が20歳前にある場合、20歳に達したときの障がいの程度が「1級」または「2級」に該当していれば支給されます。ただし、本人の所得制限があります。
- ③障害認定日が20歳以後にある場合は、障害認定日に障害等級に該当しているとき
- ④初診日の前々月までの加入期間のうち、国民年金保険料納付期間と免除（納付特例・若年者猶予を含む）期間及び厚生年金や共済組合に加入していた期間の合計が2/3以上あること

※ただし、この2/3以上の納付要件を満たしていても、初診日が平成28年3月31日以前にあるときは、初診日の前々月までの1年間に保険料の滞納がなければ該当する場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

※障害認定日とは、その障がいの原因となった病気やケガの初診日から1年6ヶ月たった日か、それ以前に症状が固定した時は、その日になります。

《後で障がいの症状が重くなったための請求》

- ①65歳までに障がいが重くなり、障害等級表に該当する状態になったとき（事後重症）
- ②新たな病気やケガにかかり、その基準傷病の障害認定日から65歳になるまでに、前の傷病と併せて初めて障害等級表に該当したとき

年金額（平成18年度）

- 1級障害 ……………990,100円
- 2級障害 ……………792,100円

障害基礎年金を受けられるようになったとき、その方に生計を維持されている18歳到達年度の末日までの子、又は20歳未満で障がいの状態が1級・2級の子がいる場合には、子の数に応じて加算があります。

- 加算対象の子1人につき（2人目まで）……………227,900円
- 加算対象の子1人につき（3人目以降）……………75,900円



寡婦年金

第1号被保険者として、保険料を納めた期間と免除期間の合計が25年以上ある夫が亡くなった場合、夫の死亡当時、夫に生計を維持され、かつ、婚姻期間が10年以上継続していた妻に60歳から65歳になるまでの間支給されます。

受給額は、夫が受け取れるはずであった老齢基礎年金の3/4です。
 ※死亡した夫が老齢又は障害基礎年金の支給を受けていた場合は支給されません。

◎問合せ先 ●栃木社会保険事務所 年金給付課 ☎22-4134
 ●町民生部住民課国民年金係 ☎81-1827

国民年金からのお知らせ

国民年金は、老後の保障だけでなく、**障害基礎年金**、**寡婦年金**等万が一の時のための制度があります。

老齢基礎年金

老齢基礎年金は、大正15年4月2日以降生まれの人が次の受給資格期間を満たした場合に、原則として65歳から支給されます。

受給資格期間

右の期間の合計が25年以上必要です。

- ①国民年金の保険料を納付した期間
- ②保険料の免除又は納付特例を受けた期間
- ③合算対象期間(任意加入できる方が加入しなかった期間)
- ④昭和36年4月以後の厚生年金や共済組合の加入期間
- ⑤第3号被保険者期間

※合算対象期間

- 次の期間（カラ期間）は、受け取る年金額には反映されませんが年金受給資格期間として合算されます。
- ①厚生年金や共済組合の加入者の配偶者で、昭和36年4月から昭和61年3月までのうち国民年金に任意加入しなかった期間
 - ②平成3年3月以前に20歳以上の学生で任意加入しなかった期間
 - ③昭和36年4月以降、厚生年金の脱退手当金を受けた期間
 - ④昭和36年4月以降の20歳から60歳までの間、海外に居住していた期間

年金額（平成18年度）

老齢基礎年金の額は、年額792,100円ですが、毎年物価スライドにより変動します。この額は、20歳から60歳になるまでの40年間又は年齢に応じた加入可能年数のすべての期間に保険料を納付した方が、65歳から受けられる金額です。

保険料を納付した期間が加入可能年数より少ない場合には、次の式で計算した額となります。

$792,100円 \times \frac{\text{保険料納付月数} + \text{全額免除月数} \times \frac{1}{3} + \text{半額免除月数} \times \frac{2}{3} + \frac{1}{4} \text{免除月数} \times \frac{5}{6} + \frac{3}{4} \text{免除月数} \times \frac{1}{2}}{40年 \times 12月}$

繰上げ支給

老齢基礎年金の支給開始年齢は原則として65歳からですが、希望により60歳から支給を受けることができます。しかし、この場合の年金額は65歳から受けられる年金額に支給年齢に応じた支給率を乗じた額となり、生涯減った額で受け取ることとなります。繰り上げて受給すると特別支給の老齢厚生年金は支給停止になり、病気やけがで1・2級の障がいに該当しても障害基礎年金を受給することはできません。

繰下げ支給

老齢基礎年金の支給開始年齢を延ばして、66歳以後に受給することができます。支給を繰り下げた方の年金額は、65歳から受ける年金額に支給率を乗じた額で増額されます。

老齢基礎年金年齢別支給率 【昭和16年4月2日以降生まれの方】

繰上げ受給年	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	請求月から65歳になるまでの月数ごとに0.5%の減額率
支給率	70%	76%	82%	88%	94%	
繰下げ受給年	66歳	67歳	68歳	69歳	70歳	66歳以後の1ヶ月ごとに0.7%の増額率（142%上限）
支給率	108.4%	116.8%	125.2%	133.6%	142%	

育てよう「一人ひとりの人権意識」



人権作文・人権書道コンテスト

人権意識の高揚と、豊かな人権感覚を身につけてもらおうと、宇都宮地方事務局・栃木人権擁護委員協議会・栃木県人権啓発活動ネットワーク協議会では、例年小・中学生に人権に関する書道、作文をお願いしています。

小学生人権書道、中学生人権作文コンテストで優秀な成績を収めた児童・生徒並びに作品の一部を紹介します。

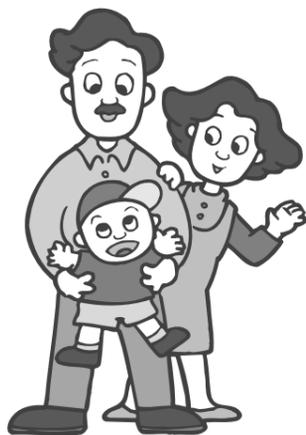
人権作文

●優秀賞
「光り輝く笑顔」
南天飼中学校 2年
吉田 陽美



人権書道

●最優秀賞
壬生小学校3年
村上 大和



人権作文

学校名	学年	氏名	題名
壬生中学校	3年	清水 祐佳	「いじめをなくすには」

人権書道

学校名	学年	氏名	課題
藤井小学校	3年	黒川 尚悟	ともだち
稲葉小学校	3年	根津 京太	ともだち
壬生北小学校	3年	瓦井 元暉	ともだち
壬生東小学校	5年	高橋 直也	自由平等
睦小学校	5年	増山 晃基	自由平等
羽生田小学校	6年	木野内美幸	人権尊重
安塚小学校	6年	生田目嵐史	人権尊重

人権街頭啓発活動を実施

法務省・全国人権擁護委員連合会では、「人権デー」(12月10日)を最終日とする1週間(12月4日から10日まで)を「第58回人権週間」と定め、広く国民に人権デーの意義を訴え、共に人権意識の高揚を図っています。そこで町人権擁護委員協議会では、12月5日町内のスーパ―2カ所において、街頭啓発活動を実施しました。



広報物を配布し、人権意識の高揚を図りました



23rd MIBU バドミントン大会

11月26日
町総合運動場体育館
42名参加

【成績】

- 男子ダブルスA
優勝 大八木・田中(久)組
準優勝 織田・石川組
- 男子ダブルスB
優勝 佐藤(力)・佐藤組
準優勝 小栗・寺内組
- 女子ダブルスA
優勝 笹井・岩本組
準優勝 平石・池沢組
- 女子ダブルスB
優勝 早乙女・熊倉組
準優勝 早乙女・熊倉組



町民ふれあいターゲット・バードゴルフ大会

町体協ターゲット・バードゴルフ部主催
11月24日
町総合公園内コース
パー72

【成績】

- 男子ネットの部
優勝 手島 豊介 65
準優勝 高山 六男 68
第3位 早乙女安男 68
- 男子ダブルスの部
優勝 大塚 孝次 77
準優勝 手島 豊介 88
第3位 栗田 武夫 91
- 女子ネットの部
優勝 石川 宮子 72
準優勝 手島 美知 77
第3位 高津戸典子 81
- 女子ダブルスの部
優勝 山川 ヨシ 102
準優勝 手島 美知 113
第3位 石川 宮子 117



国民健康保険税・介護保険料の納付額証明等について

確定申告される場合、国民健康保険税・介護保険料の領収書は、社会保険料控除の控除額を確認するための大切な資料となりますので、紛失しないようお願いします。

なお、口座振替の方は1月下旬に、控除の証明となる口座振替済通知書が送られます。(口座振替で一括納付された方は、8月末に送付されています。)

また、年金から介護保険料を天引きされている方につきましては、社会保険庁より送付されます年金の源泉徴収票の社会保険料(介護保険料)の欄に納付額が記載されていますので、参照してください。(源泉徴収票は、確定申告等で必要となることがありますので紛失しないよう注意してください。)

もし紛失された場合には、納付額証明書を発行いたしますので、運転免許証等の本人確認ができる書類をお持ちのうえ町税務課諸税係までお越しください。(電話では、個人情報保護のため、ご本人であっても個人の納付額をお答えできないことをご了承ください。)

問合せ先 町総務部税務課諸税係 ☎81-1819・1879





稲葉小学校で絵手紙づくり

12月15日、稲葉小学校の5・6年生全員で2校時を使って、絵手紙づくりをしました。

これは、生涯学習館の絵手紙教室サークル「木蓮の会」(谷田部民治会長)3人の指導をいただいて、下書きから着色して言葉を入れた完成品までを仕上げるものです。稲葉小学校では、この絵手紙教室は3年目になります。町内の他の小学校でも木蓮の会の指導で絵手紙づくりをしているそうです。

この日、まず全員で谷田部会長から、下書きの書き方や色の塗り方など絵手紙の基本を教えてもらいました。それから学年ごとの教室に分かれ、バナナ、いちご、ゆずなどの果物を前に置いて、半紙に下書きします。果物の特徴を捉えて筆で線を描くのがコツと聞いたばかりの児童たちは、多少緊張気味です。

本番の色紙に線を描き、果物に色を塗って、言葉を入れると、立派な絵手紙ができあがりました。

稲葉小学校では、卒業式の会場に全員の絵手紙を会場に掲示する予定だそうです。



南犬飼中2年生が絵手紙の年賀カードで高齢者と心の交流



南犬飼中の2年生によるボランティア活動として、地域のひとり暮らしのお年寄りに送る年賀カードづくりが行われました。

2年生の5クラス全員(156人)は、数回の説明会や下書き作業などを経て、12月11日の6校時の学級活動の時間に下書きに着色する清書の作業を行いました。

地域のお年寄りに送るこの年賀カードは、町が社会福祉法人 榎の木会に委託して実施している、在宅のひとり暮らし高齢者等への配食サービスのお弁当に添えて、1月初旬に町シルバー人材センター職員の手によって届けられました。

城南自治会公民館で青少年健全育成地域懇談会を開催

青少年を地域で守ろう、育てようと、城南自治会(伊藤仁一会長)主催の地域懇談会が、警察、保護司、民生委員、スクールガードリーダー、青少年育成指導員、管内小学校長等を招いて、12月1日(金)に開かれました。当日は、篠原教育長からいじめ問題への取り組み状況、来賓の皆さんからそれぞれの役割や青少年との係わりについての話をいただいた後、全体での話し合いに移りました。

危険箇所は時間と場所によっても変わることから、通学路上の環境の整備(死角を無くすためにこさ切りをしたり路上駐車をやめてもらうなど)がさらに必要なこと、児童生徒が安全に、安心してらせるまちづくりのため、できる時に庭先や街角で子ども達を見守ってあげることが有効であること、少ない人数でもとにかく取り組んでいくことが大切であるなど、地域住民として何が出来るかなどを活発に話し合いました。

地域懇談会の開催にあたっては、壬生町青少年健全育成実施委員会、壬生町自治公民館連絡協議会が後援しております。

懇談会のお申し込み、お問い合わせは、教育委員会事務局生涯学習課社会教育係(☎81-1873)又は、壬生中央公民館(☎82-0108)まで



サンタクロースからおもちゃのプレゼント おもちゃ博物館クリスマスイベント

12月23日、恒例となっている、おもちゃ博物館のクリスマスイベントが実施されました。

これは、おもちゃ博物館物産組合、おもちゃ団地協同組合をはじめ、団地内各企業からの協賛を受け、当日入館した子どもたちにおもちゃをプレゼントしているものです。

館内のわくわく夢広場前は、開場前から親子連れで長蛇の列ができました。順番が来て、サンタクロースからキャラクターのおもちゃやゲームなどを手渡されると、子どもたちは大喜びです。

また、博物館ロビーには、高さ4mもあるぬいぐるみクリスマスツリーが展示され、来館者は足を止めてながめていました。



プレゼントを前ににっこり

壬生東小学校・壬生中学校で 人権講話・ビデオフォーラム開催



壬生東小学校での石崎委員による講話



壬生中学校での鯉沼委員による講話

町人権擁護委員協議会(大森忠会長)による人権講話・ビデオフォーラムが、11月28日壬生東小学校、12月8日壬生中学校で行われました。

これは、お互いの人権を認め、守ることの大切さへの理解を深めてもらうために行われたもので、壬生東小学校では3年生から6年生を対象に行われ、石崎典子委員から「素直にありがとうと言えることが大切です。」との講話といじめに関するビデオ「ひとりぼっち」を鑑賞しました。また、壬生中学校では、3年生を対象に行われ、鯉沼玲子委員からの講話とビデオ「いつも一緒に」を鑑賞しました。

両校の児童、生徒ともに人権について真剣に取り組んでいました。

壬生小学校で地元のいちごを使った学校給食

12月5日、壬生小学校で、壬生町内で取れたいちごを使った給食が出され、いちご生産者や関係者、町・教育委員会の職員が児童と一緒に給食を食べ、交流をしました。

これは、壬生町苺出荷組合(中村正組合長)から学校へいちごの提供があり実現したものです。

給食に先がけ、学校側から、現在通常では生の野菜や果物を学校給食で出すことはできなくなっていること、児童たちの食生活に関係する生活実態調査の説明など、現在の子どもたちが置かれている状況や、今回いちごを出すにあたって、衛生面と味を損ねないことに注意を払った点などの説明がありました。

給食は、3年生の3クラスに関係者が分かれて入り、一緒に給食を食べました。

児童たちはおいしいいちごを食べ、関係者も児童たちとの会話を楽しみ、とてもなごやかな雰囲気の中で給食を楽しんでいました。



甘くておいしいいちごは大好評



防犯診断 町内全域で一斉に実施

12月12日、防犯意識の高揚を図ることを目的に、壬生地区、稲葉地区、南犬飼地区、陸地区の各防犯組合による防犯診断が実施されました。

稲葉地区では、稲葉地区防犯組合(荒川誠一会長)、自治会長、消防団員、上稲葉駐在所協力会のみなさんのほか、清水町長、栃木警察署の森平生活安全課長、稲葉駐在所の吉田所長が参加しました。

防犯診断は午後7時から約2時間にわたり行われ、自動車や自転車、オートバイ等の施錠状況を見て回るとともに、施錠の呼びかけを行いました。

診断の結果、特に自転車に施錠をしていないものが多く、全体の36%あまりが施錠をしていないという結果になりました。施錠をしていないと、車上荒らしや自転車盗の原因となります。防犯のため、施錠をよろしくお願ひします。



栃木県更生保護事業関係者 顕彰式で本町から3名が表彰

11月27日、宇都宮市文化会館で開催された、栃木県更生保護事業関係者顕彰式において、本町から小倉武さん、早乙女幸一さん、大関和夫さんの3名の保護司の方が表彰を受けました。

☒ 小倉さんは関東地方保護司連盟会長表彰を、早乙女さんは関東地方保護司連盟会長表彰と宇都宮保護観察所長表彰を、大関さんは栃木県保護司会連合会長表彰をそれぞれ受けました。



壬生町保護司会 大関さん 早乙女さん 神永助役 橋本会長

細井重雄さん、ゲートボール審判員功労賞を受賞

12月7日、細井重雄さんが日本ゲートボール協会より審判員功労賞を受賞され、12月18日に町長室を訪れ、受賞の報告をされました。

今回の受賞は、永年にわたり日本ゲートボール連合の認定審判員として、審判の実務、競技の運営に携わり、ゲートボールの普及振興に多大の功績をされたことを認められたものです。

なお、細井さんは、壬生町ゲートボール協会(渡辺剛会長)の役員としても活躍され、十余年にわたり会員の指導育成に尽力されています。



壬生町ゲートボール協会 細井さん 清水町長 三澤事務局長

民生委員児童委員表彰

11月10日、東京都日比谷公会堂で開催された、全国社会福祉大会において、塩沢ナミさんが、23年の長きにわたり民生委員児童委員として活動されたことを認められ、民生委員児童委員功労者表彰を受けました。

また、11月13日、宇都宮市文化会館で開催された第16回栃木県民生委員児童委員大会において、市川フミ子さん、荻原みい子さんが8年にわたり民生委員児童委員として活動されたことが認められ、民生委員児童委員功労者表彰を受けました。



塩沢さん 市川さん 荻原さん

羽生田小ふれあいまつり

12月6日、羽生田小学校で「羽小ふれあいまつり」が開催されました。地域のお年寄りや学校評議員さん50人以上を招いて、全校児童での合唱や合奏を披露し、一緒にふれあい体験活動を楽しみ、給食を食べました。

全校合唱で「ふるさと」と県の中央祭にも参加した全校合奏「紅の豚」が披露され、大きな拍手が寄せられました。その後、教室に移り、地域の人たちと児童が一緒になってうどん打ち、茶道、編み物、竹細工などの昔遊びを一緒に体験しました。出席したお年寄りの中には、町外や県外から孫の小学生姿を見に来た方もいて、ふれあい活動に参加して大変充実した一日でした。

このふれあいまつりは、地域の世代間交流を目的に、町社会福祉協議会と学校が共催で行ったもので、11月の藤井小に次いで、2校目です。また午後には、羽生田小が人権教育推進の指定校に国から指定されていることから、心のバリアフリーコンサートが行われました。児童と参加者のみなさんは、音楽を通じてのバリアフリー交流を目的とする音楽家集団「チームアウロア」の大石亜矢子さんのピアノコンサートを楽しみました。



全校児童の合唱を披露



ふれあい活動でうどん打ちに挑戦

社会福祉協議会主催の円遊会を開催



12月14日と20日の2日間、町社会福祉協議会(石川昭三会長)主催による「円遊会」(高齢者会食会)が開催されました。

これは「心の豊かさ」と「暖かいおつきあい」をテーマに、毎年実施しているもので、地域社会から離れがちなひとり暮らし世帯や高齢者夫婦世帯の方々に、地域の人たちや子どもたちとの交流を深めてもらおうというものです。会場の保健福祉センター1階ホールには、14日と20日で延べ約100人の高齢者が招待され、こどもたちの劇をみて、一緒に会食、民話を聞いたり、余興の小品や大正琴を聞いて楽しい一日を過ごしました。

東小学校4年生全員(54人)による児童ふれあいまつりの劇「ゆきんこものがたり」は、歌あり・笑いあり・おどりありで、見ていたお年寄りたちも盛んな拍手をおくっていました。そのあとの会食では、ボランティアグループによる暖かい豚汁と一緒に食べながら会話も弾み、互いに交流を深めていました。

壬生町農業施策並びに平成19年度予算に関する要望書を提出

壬生町農業委員会(中嶋正会長)は、12月20日、町長室を訪れ、壬生町農業施策並びに平成19年度予算に関する要望書を提出しました。

農業委員会では、農業者が夢と希望を持って意欲的・積極的に農業生産と地域の活性化に取り組めるよう、「ふれあいとうるおいに満ちた農村づくりをめざした支援」など、10項目について要望しました。

☒ また、町並びに町教育委員会に対し、学校給食でのさらなる米飯給食の回数増加や、米粉パンの使用、地域の野菜等を使用した「地産地消」の推進を要請しました。



みんなの広場



今回は3月生まれのアイドルを募集します。
(締切2月20日)。写真はお返しします。
応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。
写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課(直接或は郵便で 〒321-0292 壬生町通町12-22)または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。

白久泰聖ちゃん(H16.2.16生)
陽都ちゃん(H18.1.11生)
(駅東)

歴史民俗資料館だより

今回からは、栃木県最大の前方後円墳である「吾妻古墳」について(1)墳丘(2)石室(3)江戸時代の記録の順に紹介します。
歴史に興味のある方でしたら、小山市にある「琵琶塚古墳」や「摩利支天塚古墳」の方が大きいのでは、と疑問をもつ方もいるでしょう。しかし、古墳の回りに掘られた堀の内側を基準に墳丘の長さを測ると「吾妻古墳」は134mにも達し、県内最大の古墳となります。参考までに「琵琶塚古墳」は123m、「摩利支天塚古墳」は117mです。

今回は、謎の多い「吾妻古墳」の石室について紹介いたします。
問合せ先 歴史民俗資料館
☎ 82-8544



吾妻古墳

でなく、その周囲には幅20m、深さ2m程の堀が完全な形で保存されています。とくに東側の堀では、内側に突き出た張り出し部が見られ、墳丘に渡るための橋が架かっていたかのような痕跡を見ることが出来ます。これからの季節は、木々の葉が落ちるため墳丘全体を観察できる絶好の機会です。是非一度県内最大の古墳である「吾妻古墳」を訪れてみてください。



12月16日、町児童館において、「餅つき会」が行われました。
民生委員や壬生高のボランティアのみならずが準備をし、昔ながらの臼と杵により餅つきを行いました。まず民生委員さんが、鏡餅用のお餅をつき、続いて子どもたちも、お父さんお母さんや児童館職員に手伝ってもらいながら餅つきを体験しました。
餅つきの後は、みんなでつきあがった餅を食べたり、小学生はカルタ取り大会をしたりして楽しんでいました。普段できない体験に、子どもたちは大喜びでした。

子どもたちも餅つき体験
児童館餅つき会

まちのわだい



青年海外協力隊員が帰国報告



小野さん 鶴飼さん 清水町長

12月22日、青年海外協力隊員として活動された、鶴飼幹雄さん、小野淳一さんのお二人が帰国の報告に町長室を訪れました。
鶴飼さんはフィリピンへ水質検査の分野で日本の援助で建設された浄水場の維持管理で、小野さんは中国へ電子機器の分野で現地の学校での教育で、それぞれ2年間活動されました。
実際に行った活動の内容や、活動や生活の中で苦勞した点など、町長からの質問に答えていました。
海外での活動を生かしたお二人の今後の活躍が期待されます。

いなば保育園にいちごのプランターを寄附

12月15日、いなば保育園の園児の保護者である高久勝義さん(鹿島)から、いなば保育園にいちごのプランターの寄附がありました。
高久さんには、去年もプランターを保育園に寄附していただきました。真っ赤に色づいた「とちおとめ」3株ずつが植えてあるプランター14個を寄附していただき、子どもたちはいちごのクリスマスプレゼントにおおはしゃぎでした。
保育園では、4月いっぱいくらいまで建物の中に置いて管理し、次々と赤く色づいてくるいちごを鑑賞していく予定です。



寸劇で高齢者の消費者トラブル防止をPR



～消費者啓発 パートナーシップ事業～

最近、架空請求や振り込め詐欺、悪徳商法をはじめとした様々な消費者問題が発生しており、トラブルも急増しています。壬生町消費者友の会(県消費者団体連絡協議会)では、11月29日(水)陸地区コミュニティセンターに於いて、寸劇や〇×クイズなどで悪徳商法にかからないよう地域のみなさんに注意を呼びかけました。

消防団で法被を整備しました

消防団では宝くじ助成金事業のふるさと消防団活性化助成事業(100%補助)により、法被を39着整備しました。
この法被は消防団が参加するPRイベントで使われる予定です。法被を着た団員に気軽に声をかけて下さい。



おもちゃ団地チャリティバザール

おもちゃ団地の年末の恒例イベント、おもちゃ団地チャリティバザールが、盛大に開催されました。9日は天気がぐずついたせいで、入出が例年より少ない目でしたが、10日は冬晴れで暖かく、県内はもちろん県外からもたくさんのお客さんが訪れました。

おもちゃ団地協同組合主催のこのバザールは、地元利益を還元し、団地の活性化に繋げることを目的に35年前から実施されています。今年は18社が参加し、団地のグラウンドには、各企業のテントが立ち並び、格安で購入できるおもちゃや文房具などを求める親子連れで賑わい



おもちゃなどを買い求める人で会場は埋めつくされました

また、隣接するバンダイテクニカルデザインセンター広場には、ファアアや模擬店、ミニSなどの催しも行われ、おもちゃを抱えた家族の笑い声が青空に響いていました。

すこやかベビー・ご家族紹介



安部智利ちゃんご兄弟 (六美町北部)

町では、第3子以上の児童を養育している方に「すこやか子育て支援金」を交付しています。
 支援金の受給要件、申請方法等は、町福祉課児童福祉係
 (☎81-1831)へ

寄付

◆社会福祉協議会へ

- 数字は寄付回数
- おもしろ会様② 6千円
- 壬生町老人クラブ連合会様③⑤ 4万1千753円
- ダンス木曜会様②⑥ 6千円
- 匿名① 5千円
- 匿名① 1千350円
- 下表町おたのしみ会様① 1万5千円
- 壬生町商工会女性部様①⑦ 9千807円
- ガールスカウト栃木県第18団様⑫ 2万3千847円
- 羽生田西部親睦会様④⑧ 3千円



壬生東小 6年
谷黒 瑞希



絵画「緑の公園」

私の作品



ジグソーパズル「海の中」



壬生東小 5年
秋幡 満竜

2月の納税等

固定資産税・都市計画税(4期)
 国民健康保険税(8期)
 介護保険料・普通徴収(8期)
 納期限 2月28日

まちのうごき

1月1日現在

総人口	40,034人	(17)
男	19,620人	(20)
女	20,414人	(3)
世帯数	13,824世帯	(20)
	()内は前月比	

◆町へ
 12月13日、おもちゃ団地協同組合(湯本博一理事長)様から、社会福祉に役立てて欲しいと、おもちゃ団地チャリティバザールの益金の一部20万円の寄付がありました。

